

教育研究上の目的

国際水準の研究遂行能力を有する研究者を養成すること。

教 育 理 念

愛知医科大学医学研究科は建学の精神に則り、最新の豊かな学識と研究能力を身に付け、医学研究及び医師育成に指導的な役割を担う国際的医学研究者を養成することにより、医学・医療の発展を通して社会に貢献することを目指す。

教 育 目 標

- 1 自ら研鑽に励み、各専門分野の先端的な知識・技術を習得し、専門性や社会性を身に付け、独力で研究プロジェクトを立案・遂行できる人材を育成する。
- 2 国際的な視野に立ち、先駆的な研究の展開を目指す人材を育成する。
- 3 チームのリーダーとしてふさわしいコミュニケーション能力を身に付け、医学研究・医療分野の指導的な役割を担うことができる人材を育成する。
- 4 研究倫理について十分に理解して、それを遵守でき、見識を持って社会的貢献に努めようとする人材を育成する。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

医学研究科の標準修業年限は4年間で、1・2年生で、基礎医学系を専攻する学生は課題解決に向けた技術的方法論を学ぶ研究方法特論を、臨床医学系を専攻する者は研究指導が行える臨床研究者に必要な専門知識と研究方法を学ぶ臨床医学特論を履修する。また、両専攻系において、共通基礎科目、必修科目及び選択科目を履修し、研究に関する基礎的知識・技術、専門分野、関連分野の知見を広めたうえで、3・4年生において研究指導を受ける。

特に研究方法特論及び臨床医学特論では、各人の専攻にかかわらず、これから行う研究活動の基礎的知識・技術を身に付けるため、生命情報分析、動物実験に関する内容や、英文論文を円滑に作成するための講義などを受講する。また、共通基礎科目では、先行して研究活動を行っている博士課程の修了予定者の研究内容の報告を聴き、この内容を検討するディスカッションに積極的に参加することにより、具体的な研究活動に繋げていくことを目的とする。

一方、各学生が専攻する科目では、専門分野の知識・技術を習得し、大学院学生としての専門性や社会性を確保するとともに、博士論文の立案、作成の基盤となる知識、技術、方策を習得する。

また、学問の多様化に対応するよう、本研究科に複数の履修コースを設け、研究指導を行う。